

# 解 答 速 報

## 日本大学医学部 N方式( I 期) 物理

【物理 (解答)】

2022年 2月1日実施

I	1	①	2	③	3	④	4	①	5	⑥
II	6	④	7	②	8	⑥	9	④	10	②
III	11	⑤	12	①	13	⑤	14	②	15	④
IV	16	③	17	①	18	⑤	19	⑤	20	①
V	21	③	22	③	23	⑥	24	⑤	25	⑤

【物理 (講評)】

I (可動三角台上の物体)

(1)～(4)は典型問題。(5)は点 P からの降下時間を 2 倍して求める必要があり、やや難しい。

II (気体の混合)

典型的な操作の組み合わせではあるが、モル数の扱いがやや煩雑。

III (弦の共振)

基本問題。完答したい。

IV (磁場中を落下するコイル)

基本的な問題ではあるが、(5)のグラフで差が付くか。

V (原子核反応)

核反応の問題としては典型問題。完答したい。

【総評】

時間的な余裕はある。医学部入試を N 方式に統一しての初めての入試なので目標点を推測

しづらいが、入学難易度を考慮すると 9 割前後が正規合格ラインはではないか。

本解答速報の内容に関するお問合せは

